

生きづらさから
Well-Being
ウェルビーイングへの
共創

スマホが普及し、つながりたい人とつながれる時代になりました。一方で、つながれない人や、他人に気を遣って言いたいことが言えない人、格差拡大により貧困に陥る人、犯罪が増えて安心感が得られない人など、生きづらさを感じている人が多いのではないのでしょうか。

そんな生活から脱出すべく、誰もが自分らしく生きられ、ウェルビーイング（幸福感）を感じられる社会に向けて、ともに学び、ともに社会を創っていきましょう！



日時	担当者・タイトル	担当者・タイトル
9月7日 (土)	【10:40～11:40】 齋藤 美重子（川村学園女子大学 教授） 「ケアとアドボカシーが活きる社会 ーセルフアドボカシーって何？ー」	【12:00～13:00】 芳賀 優子（エバーサルデザインコーディネーター） 「合理的配慮を考える ーユニバーサル・デザインは必要？ー」
9月28日 (土)	【10:40～11:40】 朴 善美（川村学園女子大学 講師） 「健康寿命を延ばすための理想的な食習慣とは？」	【12:00～13:00】 藤原 昌樹（川村学園女子大学 教授） 「ボランティアはだれのため？」
10月20日 (日)	【10:40～11:40】 桂 瑠以（川村学園女子大学 教授） 「心の健康を考える ーメンタルヘルスとレジリエンスー」	【12:00～13:00】 佐藤 真弓（川村学園女子大学 教授） 「生活のウェルビーイング ー家族って何？ー」

【会場】 川村学園女子大学 我孫子キャンパス
【日時】 2024年9月7日（土）、28日（土）、10月20日（日）
【申込】 申込不要 無料（興味のある講座一つだけでもご参加いただけます）
【問合せ】 川村学園女子大学事務部
TEL 04-7183-0111
講座内容等は本学ホームページ
「地域・産学連携 公開講座」でご確認ください
https://www.kgwu.ac.jp/chiki_sangaku/event_open/



川村学園女子大学
Kawamura Gakuen Woman's University



「生きづらさからウェルビーイングへの共創」



【講師プロフィール】

齋藤 美重子（サイトウ ミエコ）



日本女子大学大学院家政学研究科生活経済専攻修了。専門は家庭科教育、生活経営学、ケア教育。著書に『アドボカシーが生きるユニバーサル・ケア』（大学教育出版、2024）、『ロールプレイングを導入した新しい家庭科授業』（教育図書、2021）、『自然と社会と心の人間学』（一藝社、2020）などがある。川村学園女子大学ユニバーサル・ケア研究所所長。家庭生活アドバイザー。ヤングケアラー支援研修インストラクター。

芳賀 優子（ハガ ユウコ）



拓殖大学スペイン語学科卒業。公益財団法人共用品推進機構個人賛助会員、アクセシブルデザイン JIS 委員会委員、日本障害者協議会協議委員など。著書に『ゆうこさんのルーペ（原案）』（合同出版、2020）、『ユニバーサルデザインの基礎と実践』（鹿島出版会、2020）、『ゆうことカリンのバリアフリー・コミュニケーション』（小学館、2003）などがある。

朴 善美（パク スンミ）



日本女子大学大学院家政学研究科食物・栄養学修士課程修了。管理栄養士。Daerim Saint Mary's Hospital(韓国)、Sam Hospital(韓国)、独立行政法人国立病院機構相模原病院 臨床研究センターアレルギー性疾患研究部 食物アレルギー研究室の管理栄養士を経て、2023 年 4 月より川村学園女子大学生活文化学科の講師として着任。専門分野は小児食物アレルギーの栄養食事指導である。

藤原 昌樹（フジワラ マサキ）



順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程満期退学。専門は生涯学習学・スポーツ社会学。ボランティア関係の主な論文に「『チーム学校』における部活動指導員の位置づけと養成—スポーツボランティア養成講座の実践から—」（『川村学園女子大学研究紀要』第 29 巻第 2 号）など。川村学園女子大学ボランティアセンター長。

桂 瑠以（カツラ ルイ）



お茶の水女子大学大学院博士後期課程修了。主な研究テーマは、社会心理学を中心として、インターネットでのコミュニケーションが及ぼす影響やインターネットに関する学びの場の形成など。著書に『シニアのためのインターネット教室』（ムイスリ出版、2023）、論文に「高齢者のネットリテラシーがウェルビーイングに及ぼす影響過程」（『情報メディア研究』1-13、2023）などがある。

佐藤 真弓（サトウ マユミ）



お茶の水女子大学大学院修士課程家政学研究科修了。専門は家政学原論、人間生活論、家族論。著書に、『アドボカシーが生きるユニバーサル・ケア』（大学教育出版、2024）、『生活と家族—家政学からの学び』（一藝社、2016）、『自然と社会と心の人間学』（一藝社、2020）などがある。川村学園女子大学ユニバーサル・ケア研究所副所長。家庭生活アドバイザー。